

## Sports



昨年の日本選手権で連覇を果たした高橋侑子

電話口から聞こえる声は力強かった。「Where there is a will, there is a way (意志あるところに道あり)。自分が強く思えば、道は開けると思っている」。目標の東京五輪は1年先だが、トライアスロン女子の高橋侑子(28)

## トライアスロン

## 高橋道開く鉄の意志

(富士通)の指針は、寸分も狂っていない。リオデジャネイロ五輪の代表落選をバネに、日本女

子のエースへと成長を遂げた。2017年、「何かを変えなければ」と単身米国の強豪チームへ参戦。英会話もままならなかったが、世界ランク1桁の選手たちと競い合い、「心身ともにタフになった」。18年アジア大会で金メダルを獲得し、昨年はトップ選手が集結した世界シリーズ横浜大会で4位に。10月の日本選手権も圧勝で連覇した。

「五輪の表彰台が見えてきたかもしれない」と感じていた今年3月、東京五輪が延期に。合宿先のポルト

## 米で武者修行「心身タフに」

ガルから帰国すると、空港の閑散とした様子に、「映画のようだ」とぼう然とした。ただ、気持ちの切り替えは意外なほどすんなりできた。「残念だが、やることは変わらない。現実を受け止めて、やれることをやる」。終盤のランで競り勝負つ走力など、課題に取り組み決意を新たにした。

陸上と競泳では結果が出ず、中学3年でトライアスロンへ転向した。折れるたびに、力強くはい上がってきた競技人生だ。19世紀の英国の伝説的帆船「カティ・サーク号」の船尾に刻まれた言葉も、「意志あるところに道あり」。荒波に立ち向かう船乗りと、心意気は同じだ。(工藤圭太)